

令和6年度

第4回定例記者会見

令和7年2月14日(木)
午前10時30分

招 集 日

令和7年2月19日(水)

議 案

37件

〔専決処分の承認(2)、予算(11)、条例(18)、その他(6)〕

【主な内容】

- ・令和7年度行田市一般会計予算
- ・令和6年度行田市一般会計補正予算
- ・行田市景観条例

概 要

(1)第8回補正予算額 **2億7,863万2千円**
＜一般会計 補正後累計 310億8,487万6千円＞

(2)第9回補正予算額 **14億7,583万円**
＜一般会計 補正後累計 325億6,070万6千円＞

低所得者への支援

第8回 非課税世帯物価高騰対応重点支援金給付事業

事業費：2億7,863万2千円

担当課：福祉課

住民税非課税世帯への給付金

- ・ 1世帯あたり3万円
- ・ 18歳以下の児童1人につき2万円

物価高騰の影響を受けた市民や事業者への支援

第9回 水道基本料金無償化事業

事業費：1億33万円

担当課：水道課

水道料金のうち基本料金を2か月分免除

免除する金額：2,860円※～ ※口径13mm

免除する期間：令和7年3月及び4月検針分※

※令和7年4月及び5月請求分

第9回 プレミアム付商品券事業

事業費：8,774万8千円

担当課：商工観光課

市内店舗で利用可能なプレミアム付商品券を発行
(紙・電子)

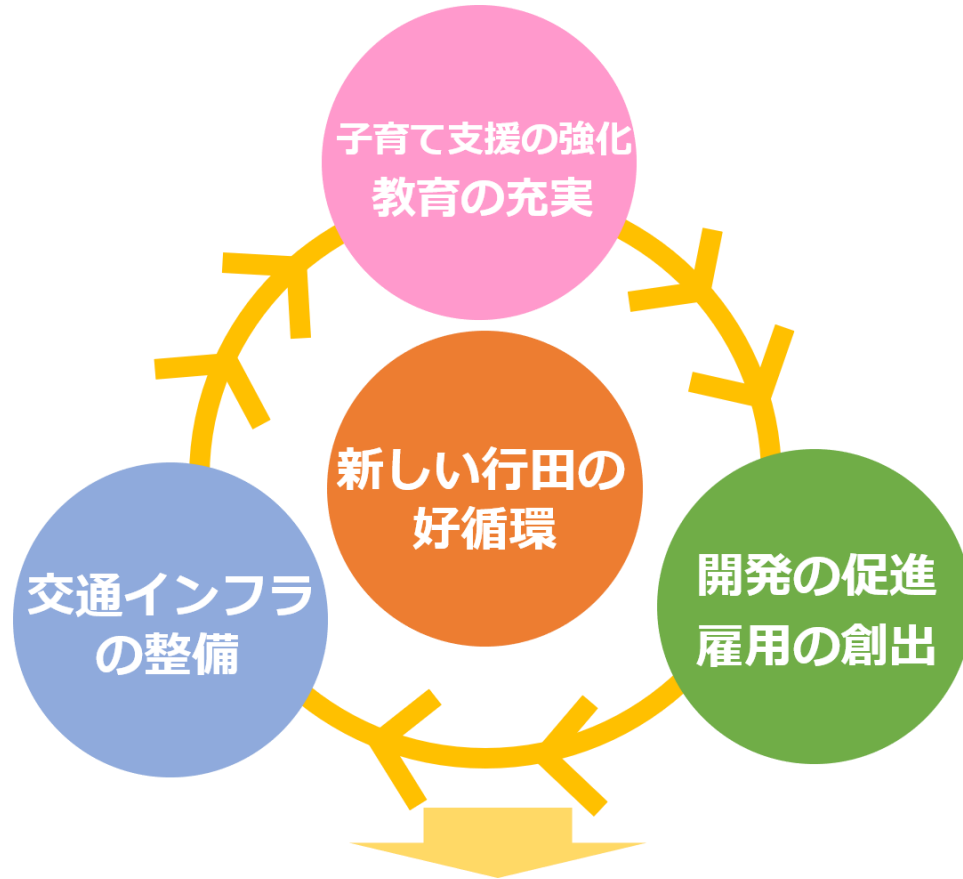
・ 発行額：312,000千円

・ プレミアム率：30%

令和7年度当初予算のポイント

資料3

令和7年度当初予算は、基本構想で掲げた将来像の実現に向けて、「子育て支援の強化・教育の充実」、「開発の促進・雇用の創出」、「交通インフラの整備」の3つの重点政策に取り組むことで、新しい行田の好循環を創出していく。



重点政策

子育て支援の強化
教育の充実

開発の促進
雇用の創出

交通インフラ
の整備

過去最大

一般会計

308億4,000万円 前年度比+7.8%

全会計合計

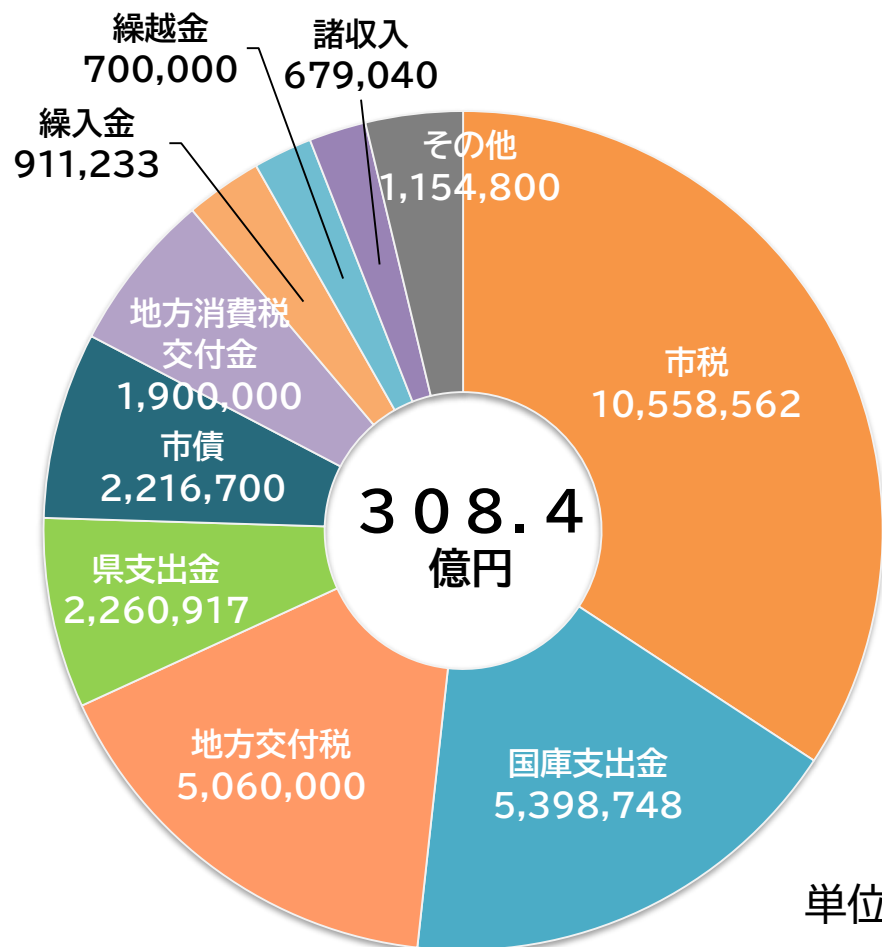
543億2,397万6千円 前年度比+4.8%

人口減少の抑制・活力の創出

一般会計歳入歳出内訳

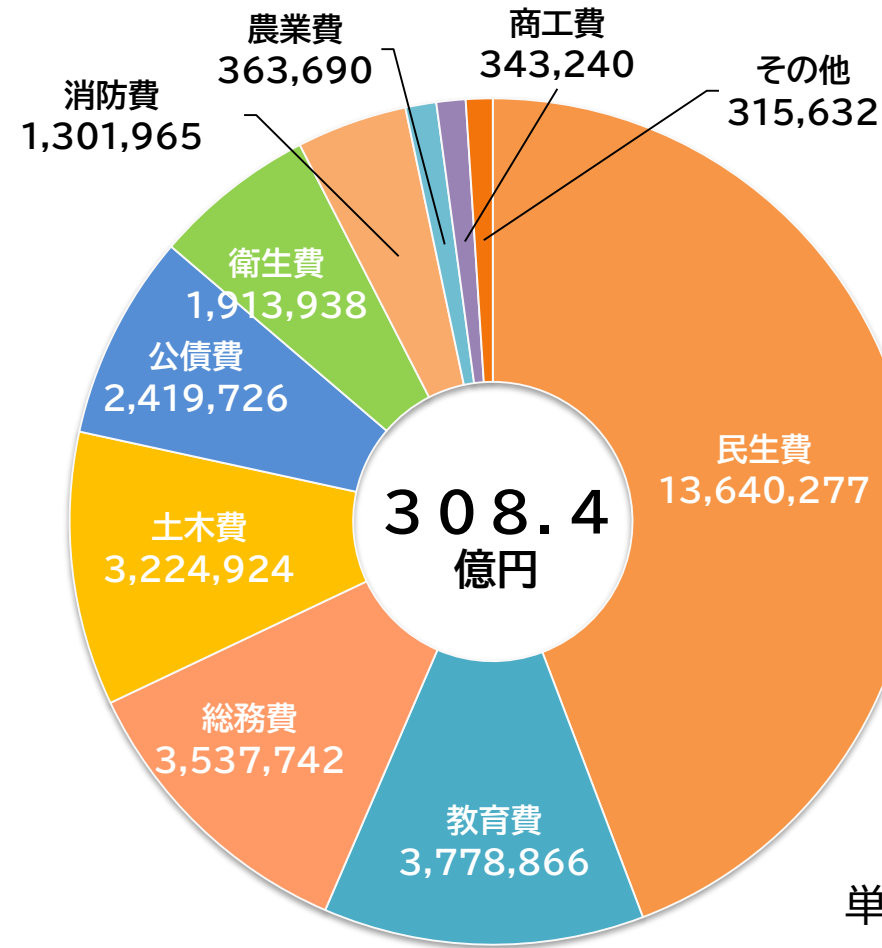
歳入

国庫支出金や県支出金、交付税措置のある有利な地方債などを積極的に活用し、財源を確保



歳出

新しい行田の好循環実現のため、将来の成長を見据えた投資的事業へ重点的に予算を配分



重点政策

子育て支援「こどもまんなか」

行田市なら**0歳**から**18歳**まで切れ目なくサポート

0歳～2歳

3歳～5歳

6歳～18歳

行田市独自

- ・3歳未満児保育料無償化
- ・おうち子育て支援事業

幼児教育及び保育無償化

授業料負担軽減

子ども医療費無償化

拡充 3歳未満児保育料無償化 1億768万7千円

拡充 おうち子育て支援事業 4,614万9千円

国に先駆けて所得制限のない3歳未満児の保育料無償化を引き続き実施



※年度途中で認可保育園への入園が難しい場合、認可外保育園の保育料補助も実施

未就園の0歳6か月から3歳未満児を対象とした「こども誰でも通園制度」を通年で実施

5園から6園へ拡充



拡充 多世代型子どもの居場所づくり

888万8千円

栗原宣幸こどもの居場所基金の創設

令和6年5月：故栗原宣幸氏から1億円の遺贈寄附

令和6年6月：「栗原宣幸こどもの居場所基金」を創設

基金活用事業

民間団体が実施する以下の事業を支援

①学習支援事業

公民館などを活用し、こども達の学習を支援

対象：小学生から高校生まで
(所得制限なし)



②多世代型こども食堂事業

無料もしくは低額で食事等を提供

対象：制限なし



③多世代交流事業

毎月公民館や公園などで、高齢者との料理イベントや、昔遊び体験などを開催

対象：制限なし



④「行田こども居場所ネットワーク」による団体統括事業

(理解促進、気運醸成、新規整備支援などを実施)

重点政策

教育の充実

拡充 英語のできる行田っ子 7,231万6千円

◆ネイティブの指導員を全幼稚園に派遣
市内8園において幼児期から英語に触れ合い英語の好きな子どもを育成



◆全小中学校にA L Tを配置
市内全20校に12人を配置
小学校の全ての授業で教員とA L Tが指導

◆英語力判定ツール（G T E C）の導入
英語4技能「話す・聞く・読む・書く」を実践的な状況設定で測定しスコア化することで、生徒の習熟度や課題を的確に把握し指導に活用



◆英語×A I

文部科学省 「A Iモデル校」に申請
英会話や英作文の練習などに活用

拡充 学校再編事業 2,547万9千円

義務教育学校設置に向けた基本構想を策定



小中学校20校

義務教育学校3校

規模、機能、施設内容など施設整備に関する基本方針を定める

拡充 水泳授業民間委託 1,921万8千円

民間スイミングスクールを利用し、天候や季節に左右されない水泳授業を実現

4校

南小 見沼小
北小 忍小

6校

東小 太田小
南小 見沼小
北小 忍小

重点政策

開発の促進と雇用の創出

拡充 企業誘致の促進

954万3千円

◆埋蔵文化財の先行試掘調査を実施

令和6年度 9地区

持田、佐間、星河、太田、太井、荒木 埼玉 下忍 長野

令和7年度 8地区

持田、佐間、星宮、太田、荒木 埼玉 下忍 斎条

◆企業データを活用した企業の抽出

民間が保有する企業情報を基に、誘致の可能性の高い企業を抽出

拡充 スマート農業の推進

1,000万円

スマート農業の導入などを行う農業者を支援

補助率：1/2 上限額：100万円

取組例

- ・自動操舵システム
- ・農業用ドローン
- ・デジタル色彩選別機
- ・スマート水管理システム



継続 若者移住促進

780万円

若者の移住を促進するため
奨学金返還を最大3年間支援

対象者：新たに転入した方
補助額：奨学金返還額の1/2
年間最大：12万円



市内に住んでいれば
就業先が市外でもOK

新規 まちなかウォークブル推進 7,000万円

中心市街地を歩きたくなる空間に再整備

R 7	・南口駅前広場再整備 ・歩道整備設計
R 8	・歩道整備 ・八幡通事業活用調査
R 9～ R 11	・歩道整備 ・カラー舗装 ・休憩スペース ・ワークシヨップ など



チーム行田で17号バイパス高速道路化の要望

R5.11月 国土交通省（国土交通副大臣面会）

R6.12月 国土交通省（国土交通副大臣面会）

「チーム行田」

行田市、市議会、商工会議所、
農業・運輸・福祉関係、自治会連合会、PTA連合会



4市で連携要望（熊谷市、本庄市、深谷市＋埼玉県）

R6.11月 国土交通省（道路局次長面会）、財務省（主計局主査面会）

R7. 1月 国土交通省（国土交通副大臣・道路局長面会）、
内閣官房（内閣総理大臣補佐官面会）

- ①本庄道路の早期完成
- ②深谷バイパスの4車線化
- ③上武道路の県内4車線化



乗合型A I オンデマンド交通

4,588万円

乗合型A I オンデマンド交通「**うきしろ号**」の本格運行
予約に応じた配車を乗合で行うことで
だれでも利用できるデマンド交通を実現

運行区域：市内全域

運行日時：月～土（日祝年末年始除く）

7:30～18:30

利用対象：市内在住の方



高齢者移動支援

204万6千円

高齢者の通いの場である「やすらぎの里」
や「老人福祉センター」などへの移動を支援

県内初

・無料送迎の実施

(社会福祉協議会、社会福祉法人瑞穂会)

対象：65歳以上

区間：指定乗降場所⇄通いの場

・A I オンデマンド交通利用料金を一部補助

官民連携 シェアサイクル

市内外の回遊性向上のためサイクルポートの設置

設置場所：郷土博物館、古代蓮の里、やすらぎの里など
11か所からスタート

どのポートでも返却可能

利用料金：10分88円(上限8時間2,000円)

利用可能時間：24時間

開始予定時期：令和7年3月下旬



官民連携 日本版ライドシェア

タクシーが不足する夜間の移動手段を確保するため
一般のドライバーや自家用車を活用した
日本版ライドシェアを実施

県内初

運行日時：火～土

20:30～翌1:30

利用方法：タクシーアプリで予約



プレコンセプションケア = 人の一生涯の健康づくりに取り組むための施策として位置づけ切れ目なく推進

未就学時期向け

自分の体も周りも大切にする

◆こどもの性教育研修会の開催

対象者：保護者

講師：民間講師等の専門家

内容：自分の体を正しく知り、大切にすることを伝える



児童・生徒期向け

健康な生活習慣の獲得

県内市で3番目

- ◆男性向けHPVワクチン接種費用助成
目的：HPVの感染が原因とされる疾病（各種がん等）の予防
対象：小6から高1相当までの男性
助成：1回あたり16,610円が上限（全3回接種とも助成の対象）

- ◆児童・生徒向けの授業
講師：民間講師や助産師等の専門家
内容：性教育・生活習慣の改善

成人期向け

希望するライフデザインを描く

- ◆ライフデザイン研修会
対象：社会人、高校生等
内容：仕事とライフイベント（妊娠・出産等）の両立や自らのライフデザインについて学ぶ
- ◆妊娠や出産に向けた体づくり
対象：婚姻届けや妊娠届を提出した者
内容：生活習慣や食習慣見直しへ向けた情報の提供

一生涯を通じた取り組みとしては **県内初**

R 7～R 9 集中対策強化期間

樹木の食害を引き起こすクビアカツヤカミキリを3年で撲滅

私有地

樹木所有者等による対策費用を補助

補助率 : 1/2
 上限額 : 5万円
 対象経費: 被害樹木伐採費用
 伐採後の処分費用
 薬剤購入費用
 薬剤注入費用 など



公共施設

◆公共施設における対策

効果の高い薬剤注入
 被害樹木の伐採

◆効果の高い
 薬剤の周知活動



3年継続注入により
 70%以上の防除効果が期待

武蔵水路沿い

水資源機構と連絡会を設置し
 連携した対策

・武蔵水路沿いの桜防除
 (薬剤注入等)



その他施策

新規 災害時の消防井戸活用 325万6千円

市内に1,264か所ある消防井戸のうち
96か所を災害用消防井戸に選定

県内最多

選定した災害用消防井戸活用のため必要器具を配備

配備箇所：市内全15地区

配備器具：自立式簡易水槽
水中ポンプ

選定基準：①出水量がある
②住民が集まりやすい
③消防車と簡易水槽を
展開できる広さがある



災害時にトイレや屋外の
清掃に使用可能な生活用水
を供給

継続 防犯カメラの設置 836万5千円

自宅

市内の自宅に新たに防犯カメラを設置する方を補助

補助率：1/2 上限額：3万円

令和6年度補助件数：181件（R7.1月末時点）

交差点等

犯罪を抑止するため交差点などに
防犯カメラを設置（年5台ずつ増設予定）



継続 特殊詐欺等対策機器の購入費補助 100万円

振り込め詐欺等の対策機能を持つ
固定電話機等の購入費用を補助

補助対象者：65歳以上の高齢者がいる世帯

補助率：1/2

上限額：1万円

令和6年度補助件数：76件（R7.1月末時点）



その他施策

継続 総合体育館空調整備 5億390万円

市最大の指定避難所である総合体育館空調を整備

場所：メインアリーナ、サブアリーナ



平常時



快適なスポーツ利用
大規模大会の誘致

災害時



良好な避難生活

令和8年度 稼働開始（予定）

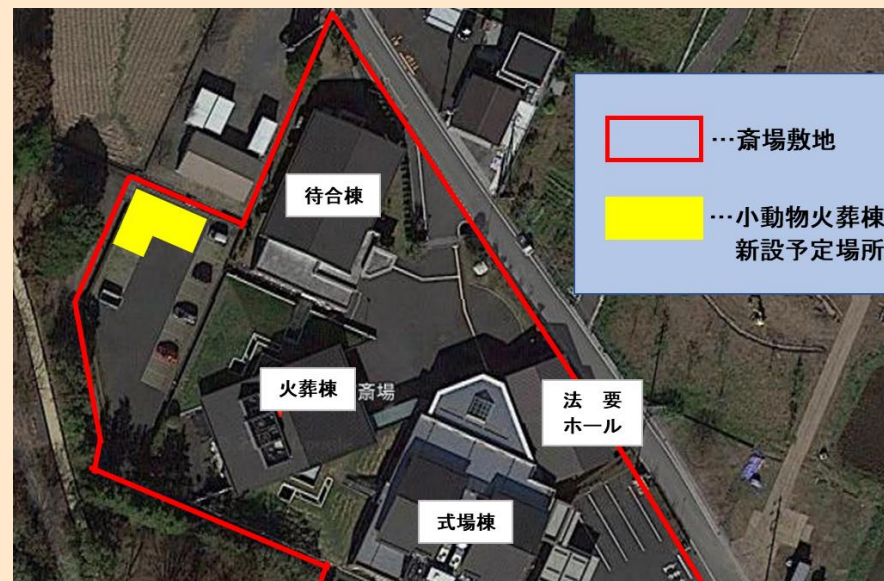
継続

小動物（ペット）火葬棟の整備
9,131万3千円

斎場の西側駐車場に 小動物（ペット）の火葬棟を整備

令和5年度：設計
令和6年度 } 工事
令和7年度 }

令和8年2月
稼働開始（予定）



さきたま古墳公園「子どもの遊び場」の整備について

資料4

埼玉県と「さきたま古墳公園における子どもの遊び場の設置等に向けた協議に関する協定」を締結

協定締結日

令和7年2月13日

協定の内容

県が管理する公園内の「古代の森・古代の草原」エリア(約4ha)に、市が子どもの遊び場を整備することについての協議

子どもの遊び場のイメージ

整備内容

- ①屋内型遊び場(砂場、ボルダリング、ボールプール等)
 - ②外遊び場(ふわふわドーム、滑り台、ブランコ、うんてい等)
- ※その他休憩スペース、民間収益施設(飲食店)

今後の予定

令和7年度	令和8～10年度	令和11年
事業構想 検討委員会	基本設計 工事等	オープン 予定

